

地方公共団体金融機構 第31回経営審議委員会会議録

1 開会の日時及び場所

(1) 開会の日時

令和元年6月12日（水） 14時55分～15時55分

(2) 場所

地方公共団体金融機構 第一特別会議室

2 出席委員の氏名

委員 三谷 隆博

〃 鈴木 豊

〃 勢一 智子

〃 米田 保晴

〃 玉沖 仁美

〃 上崎 正則

3 議事の概要

別紙のとおり

以上

地方公共団体金融機構

経営審議委員会委員長 三谷 隆博

（別紙）議事の概要

1 開会

委員長（挨拶）

理事長（挨拶）

2 議事

（1）平成30年度決算について

事務局（議案及び資料の内容を説明）

委員長 議案等について質問はないか。

委 員 財政分析チャートOctagonは非常に良いと思う。項目毎に偏差値が分かり、他団体との比較が可能であるため、財政状況の課題を把握しやすい。八角形で視覚的に見やすくなっており、非常に画期的なツールだと思う。

理事長 Octagonは視覚的に分かりやすいものになっているが、より利用しやすいものになるよう今後とも引き続き改善を図って参りたい。

委 員 Octagonは項目毎に偏差値で可視化されており、シンプルで非常に分かりやすい。Octagonを活用することで、財政状況に関するアドバイスがより有意義なものになると思う。

委 員 先進事例検索システムの改善を提案した際、速やかに対応いただき、感謝している。

委 員 出前講座や実務支援等の実施回数が平成29年度より増える等、地方支援業務の充実が図られ、地方公共団体にとってもありがたいことだと思う。引き続き、地方支援業務の充実に努めていただきたい。

事務局 Octagonについては地方公共団体からの反響が大きいほか、大学の講義に使用したいとの声も聞く。

先進事例検索システムについてはご指摘をいただき、改善した。より検索しやすいシステムになるよう努力してまいりたい。

委 員 繰上償還は自治体からの申し出があれば、認められるのか。

事務局 補償金を支払う必要があるが、繰上償還は可能である。

委員 人件費の長期推計に関する調査研究に関して、各地方公共団体が簡単に人件費の長期推計を行うことが可能なシートを提供していると思うが、全国ベースの人件費の集計を行うことは考えていないか。

事務局 人件費の長期推計に関する調査研究は、年齢構成を把握し、将来的に人件費がどのようになるかを機械的に分析したものになる。今後、中期的な財政収支見通しを作成していない地方公共団体への支援に力を入れて参りたい。

理事長 歳出合計に占める割合が高い人件費の長期的な推計を行うことで、各団体における安定的かつ計画的な財政運営に資することが可能と認識している。なお、全国ベースの人件費の集計は別の問題として捉えていきたい。

委員 Octagon や人件費の長期推計に係るツールは、人手をかけずに財政分析を行うことが可能なものであることから、人手不足に悩む地方公共団体が財政分析を行う際に役立つものになると思う。

委員 省庁の審議会等で導入されている所もあるが、機構においてもタブレットを用いて会議を行うなど、効率化にも意を用いていただければと思う。

委員 貸付計画額と貸付実績額で70億円の乖離が生じているが、貸付計画額はどのように決まるのか。

事務局 地方債計画における機構資金の額や過去の貸付実績を勘案しつつ、貸付計画を作成している。平成30年度は貸付計画額1兆6,600億円に対し、1兆6,530億円の貸付があり、ほぼ計画通りの貸付であった。ただし、事業別に見ると、多少の乖離は存在する。

(2) その他報告事項

事務局 (報告事項について報告)

委員長 報告事項について質問はないか。
(質問なし)

委員長 最後に、委員会の意見書について、私の方で意見書案を作成したので、今から配付する。
(意見書(案)を配付)

委員長 このように意見を取りまとめたいが、いかがか。

委 員 法律の規定を踏まえれば、機構においては、厳密に企業会計の基準のみが厳密に適用されている訳ではないため、「企業会計の基準」ではなく、「会計の基準」という表現を用いる方が適切ではないか。

委員長 いただいた意見を踏まえ、私と事務局で意見書として取りまとめさせていただきます。文案については一任いただきたい。

事務局 委員長と相談し、修正等の対応をさせていただきたい。

3 閉会

委員長 議事を終了し、閉会する。

以上